

『世界患者安全の日』記念シンポジウム



—2026年の患者安全と対話推進の変化から 組織文化を根付かせるために—

13:30～15:30 第一部

開会挨拶

豊田 郁子 NPO 法人架け橋 理事長

ビデオメッセージ

芝田 おぐさ WHO 西太平洋地域事務局
医療の質・患者安全技術専門官

メキシコからのメッセージ

講演

『患者・家族と協働する急変対応』

藤谷 茂樹 聖マリアンナ医科大学 救急医学
主任教授

『より安全な診断を目指して、
患者と医療者が協働できること』

原田 侑典 獨協医科大学 総合診療医学
学内准教授

『患者経験価値を活用し、より安全な医療を提供する』

安本 有佑 板橋中央総合病院
救急総合診療科部長

座談会

『すべての人に安全なケアを、
患者と医療者が協働できること』

杉本 直樹 埼玉医科大学国際医療センター
医療安全対策室 主任

清水 紀子 NPO法人架け橋 理事

指定発言

小池 朋孝 北里大学病院 集中治療センター
RST・RRT室 副室長

総合司会

安井 はるみ セコム医療システム株式会社

座長

長尾 能雅 名古屋大学病院 副院長
患者安全推進部 教授

加部 一彦 埼玉医科大学総合医療センター
小児科 特任教授

15:30～17:30 第二部

講演

『医療安全対策の動向と制度改正について』

加藤 拓馬 厚生労働省医政局地域医療計画課
医療安全推進・医務指導室長

『患者安全を支える医療対話推進者へ
—業務指針改定が示す役割の広がり—』

本谷 園子 東京保険医療大学大学院
医療保険学研究科

『医療安全啓発センター：』

立ち上げの経緯と今後の取り組み』

世川 修 東京女子医科大学病院 副院長
小児外科 診療部長

座談会

『2026年の変化から、安全管理者と
対話推進者が連携してできること』

荻無里 千史 相澤病院 医療安全推進室
メディカルコーディネーター

宮脇 正和 医療過誤原告の会 会長

話題提供

種田 憲一郎 国立保険医療科学院 上席主任研究官

座長

稲葉 一人 いなば法律事務所 弁護士

浦松 雅史 東京医科大学病院 医療安全管理部 部長
東京医科大学 医療の質・安全管理学分野 主任教授

参加費
無料

【対象】
医療従事者・福祉・行政関係者
弁護士・一般市民など

2026年9月21日（月・祝）

13:30～17:30

会場：全水道会館 4F 大会議室

Web：zoom ウェビナー

オンライン同時配信



患者・家族と医療をつなぐ NPO 法人 架け橋



『世界患者安全の日』 2026

2026年度



テーマ Safe care for noncommunicable diseases
スローガン Safe care for life!

NPO 法人架け橋では、毎年 9 月 17 日の『世界患者安全の日』を記念したイベントを開催しております。

2026 年度は、本年に行われました医療安全に係る法改正および医療対話推進者の業務指針改定をふまえて、本シンポジウムのテーマを - 2026 年の患者安全と対話推進の変化から組織文化を根付かせるために - と致しました。また WHO のテーマ「非感染性疾患に対する安全なケア」とスローガンである「生涯にわたる安全なケア！」もふまえて、講演者の方々と共に医師・看護師・薬剤師・理学療法士・事務職等の医療従事者と患者・家族の皆さまにもご登壇いただきます。

開催方法は、現地（東京開催）とオンラインのハイブリット形式です。当日の参加が難しい方は、オンデマンド配信も予定しておりますので、皆さまのお申込みを心よりお待ちしております。

【締切】 9 月 14 日（月）

【定員】 会場：定員 50 名（全水道会館 4 階 大会議室）

東京都文京区本郷 1-4-1 <https://www.mizujoho.com>

オンライン：500 名

日時：2026 年 9 月 21 日（日・祝）13:30～17:30 ※後日オンデマンド配信あり

開催方法：ハイブリッド開催 「会場」および「Zoom ウェビナー」ライブ配信

※13:00 より Zoom の受付を開始いたします。

参加費：無料 希望者には参加証を発行します。（要件を満たした方のみ対象）

オンライン参加の登録方法およびアクセス情報のご案内は、参加申込み時に登録していただくメールアドレスにお送りいたします。

※当ホームページの【オンライン参加について】を必ずご確認ください。

※登壇者の方の職名は 7 月時点のものです。

主催：患者・家族と医療をつなぐ NPO 法人 架け橋
<https://www.kakehashi-npo.com>

